

「省エネルギー計画書」

平成 24年 10月 2日 作成

建築主	社名及び氏名					
	住所					
設計者	氏名(代表者)					
	事務所名					
	所在地					
計画書作成者 氏名						
工事着手予定年月日						
適用した基準		1. ホテル等基準 2. 病院等基準 3. 物販店舗等基準 ④ 事務所等基準 5. 学校等基準 6. 飲食店等基準 7. 集会所等基準 8. 工場等基準				
建築物の概要	建築物の名称	兼用住宅				
	建設地					
	用途					
	工事種別					
	高さ					
	階数					
	構造					
	敷地面積	m ²	建築面積	m ²		
	延べ面積 (今回申請部分)	185.48 m ²	うち地上部分	185.48 m ²		
		ホテル等 - m ²	ホテル等	- m ²		
		病院等 - m ²	病院等	- m ²		
		物販店舗等 m ²	物販店舗等	- m ²		
		事務所等 m ²	事務所等	m ²		
学校等 - m ²		学校等	- m ²			
飲食店等 74.54 m ²		飲食店等	74.54 m ²			
集会所等 - m ²		集会所等	- m ²			
工場等 - m ²		工場等	- m ²			
住宅 110.94 m ²		住宅	110.94 m ²			
その他 m ²	その他	m ²				
平均階床面積	m ²	屋内周囲空間の床面積	66.24 m ²			
建築計画	主要部分の熱貫流率	部 位	熱貫流率 U (W/m ² ・K)	日射侵入率 η		
		外 壁	U = 0.000 (OW5)	η = 0.000 (OW5)		
		屋 根	U = 0.000 (OR1)	η = 0.000 (OR1)		
		窓	U = 0.000 (GL1B)	η = 0.000 (GL1B)		
		外気に接する床	U = 0.000 (PL1)	η = 0.000 (PL1)		
	熱負荷	期間暖房負荷	θH =		MJ/年	
		期間冷房負荷	θC =		MJ/年	
		年間熱負荷	θ = θH + θC =		MJ/年	
	年間熱負荷係数	※ PAL = 1,028.4 MJ/m ² ・年	(判断基準値 990		MJ/m ² ・年)	
	上覧の計算方法	①. 拡張デグリーデー法 (詳細法) 2. 拡張デグリーデー法 (簡易法) 3. その他 ()				
建築計画における主要な省エネルギー手法	①. 複層ガラスを採用 2. 屋上緑化を整備 3. その他 ()					





設 備 計 画	空 気 調 和 設 備	年間空調消費エネルギー量		M J /年
		年間仮想空調和負荷		M J /年
		空調エネルギー消費係数（CEC/AC）		※
		上覧の計算方法	① 全負荷相当運転時間法（EFH法） 2. シミュレーションプログラム「BEC S/CEC/AC」 3. その他（ ）	
		空調計画における主要な省エネルギー手法	① 外気負荷の軽減 ② マルチ方式の採用 3. 高効率熱源機器の採用 4. その他（ ）	
	機 械 換 気 設 備	年間換気消費エネルギー量		M J /年
		年間仮想換気消費エネルギー量		M J /年
		換気エネルギー消費係数（CEC/V）		※
		上覧の計算方法	① 詳細法 2. その他（ ）	
		換気計画における主要な省エネルギー手法	1. 濃度制御、照明連動制御等の採用 2. 高効率低圧三相かご形誘導電動機の採用 ③ その他（ ON-OFF制御 ）	
	照 明 設 備	年間照明消費エネルギー量		M J /年
		年間仮想照明消費エネルギー量		M J /年
		照明エネルギー消費係数（CEC/L）		※
		上覧の計算方法	① 詳細法 2. 簡略化法 3. その他（ ）	
		照明計画における主要な省エネルギー手法	① コンパクト型の蛍光ランプの採用 ② 制御方法の工夫 3. タスク・アンビエント照明方式の採用 4. その他（ ）	
	給湯設備	年間給湯消費エネルギー量		M J /年
		年間仮想給湯消費エネルギー量		M J /年
		給湯エネルギー消費係数（CEC/HW）		※
		上覧の計算方法	1. 略算法M 2. 略算法Y 3. その他（ ）	
		給湯計画における主要な省エネルギー手法	1. 循環ポンプの制御の採用 2. 自動給水栓の採用 3. 節水型の自動温度調整付き制御の採用 4. その他（ ）	
エ レ ベ ー タ ー	年間エレベーター消費エネルギー量		M J /年	
	年間仮想エレベーター消費エネルギー量		M J /年	
	エレベーターエネルギー消費係数（CEC/EV）		※	
	上覧の計算方法	① 詳細法 2. その他（ ）		
	エレベーター計画における主要な省エネルギー手法	① 可変電圧可変周波数制御方式（電力回生制御あり）を採用 2. 可変電圧可変周波数制御方式（電力回生制御なし）を採用 3. その他（ ）		
エネルギー利用効率化設備等の概要				

注1) ル等、等、等、等、等、等、等、等、等の用になるあ、
 数のを用るのにあ、計画設備計画を別に別る
 注2) エネルギー利用効率化設備等の設にり、エネルギーの量の熱量の換算に別3にる数を回る数を用る
 に、「エネルギー利用効率化設備等の概要」のの（）に当換算に用る数を記る
 ※ 様（ポント法）を用し、当に「別」記し、当目の計付る

PAL計算表(1) : 熱貫流率・日射侵入率

部位記号	部位(種類・厚さ)		熱貫流率: U	吸収率: ε	日射侵入率: η
OR 1 屋根	外	材料名 押えコンクリート 断熱材 アスファルト防水 普通コンクリート 非密閉中空層 岩綿吸音板	mm 100 50 10 140 12.5	$\varepsilon = 0.80$	$\eta = 0.04 \times \varepsilon U$ $= 0.04$ $\times 0.80$ $\times 0.3970$ $= 0.013$
	内		mm U= $1 / (1/23$ +0.1/0.8 +0.05/0.028 +0.01/0.11 +0.14/1.4 +0.07 +0.0125/0.064 +1/9) =0.397		
OW 1 壁	外	材料名 吹き付けタイル ラスモルタル 非密閉中空層	mm 1 20	$\varepsilon = 0.80$	$\eta = 0.04 \times \varepsilon U$ $= 0.04$ $\times 0.80$ $\times 3.45$ $= 0.1104$
	内	せっこうボード	9 +0.009/0.17 +1/9) = 3.43		
OW 2 壁	外	材料名 アルミパネル 非密閉中空層 ALC板 断熱材	mm 3 125 25		
	内				
OW 3 壁	外	材料名 ALC板 断熱材	mm 125 25		
	内				
OW 4 壁	外	材料名 ALC板 断熱材 非密閉中空層 せっこうボード せっこうボード	mm 125 25 12.5 9.5		
	内				
OW 5 壁	外	材料名 ガラス 断熱材 非密閉中空層 耐熱ボード	mm 15 25 25		
	内				
OW 6 壁	外	材料名 アルミルーバー アルミパネル 断熱材 非密閉中空層 せっこうボード せっこうボード	mm 60 3 25 12.5 9.5		
	内				

P A L 計算表 (1) : 熱貫流率・日射侵入率

部位記号	部位 (種類・厚さ)	熱貫流率: U	吸収率: ε	日射侵入率: η
GL 1 ガラス	外 内 材料名 厚さ 短板ガラス 6 mm 	U= 6.30	$\varepsilon = -$	$\eta = 0.84$
GL 1 B ガラス	外 内 材料名 厚さ 高性能熱線反射ガラス 15 mm 			
GL 2 ガラス	外 内 			
PL 1 軒天	内  外			

飲食店客席 P A L 計算表 (3)

件名： 兼用住宅 H24. 10. 2

地域	G (東京)	kH	0. 70	ゾーン名称	N
		kC	1. 05		

		部位記号	部位面積:A	熱貫流率:U	U × A	日射侵入率: η H	η H × A	日射侵入率: η C	η C × A																		
(a) 日の 当 た る 部 分	(イ) 空 調 室	GL1	2.0	6.30	12.6	0.840	1.7	0.840	1.7																		
		OW1	10.4	3.43	35.7	0.110	1.1	0.110	1.1																		
			Σ UA1 (1)	48.3	Σ η HA1 (4)	2.8	Σ η CA1 (6)	2.8																			
	(ロ) 非 空 調 室	GL1	2.0	6.30	12.6	0.840	1.7	0.840	1.7																		
		OW1	10.4	3.43	35.7	0.110	1.1	0.110	1.1																		
		1/2 Σ UA3 (2)	24.1	1/2 Σ η HA3 (5)	1.4	1/2 Σ η CA3 (7)	1.4																				
	1.91 × Ap1	(3)	25.3																								
		UT (a)=(1)+(2)+(3)		97.7	(4)+(5)	4.2	(6)+(7)	4.2																			
(b) 日 陰 の 部 分	(イ) 空 調 室				(注) 庇がない場合は、η H=η C=η とする。																						
		GL1		6.30	0.0	<table><tr><th colspan="2">床面積と Δ θ の計算</th></tr><tr><td>日の当る空調床面積 :Ap1</td><td>13.3 m²</td></tr><tr><td>日陰の空調床面積 :Ap2</td><td>m²</td></tr><tr><td>空調床面積 :Ap(イ)</td><td>13.3 m²</td></tr><tr><td>非空調床面積 :Ap(ロ)</td><td>6.6 m²</td></tr><tr><td>合計床面積 :Ap</td><td>19.9 m²</td></tr><tr><td>内部発熱 24.2×Ap(イ)+6×Ap(ロ)</td><td>360.4 W(11)</td></tr><tr><td>UT =(1)+(2)+(3) +(8)+(9)+(10)</td><td>97.7 W/K(12)</td></tr><tr><td>Δ θ =(11)/(12)</td><td>4 K</td></tr></table>				床面積と Δ θ の計算		日の当る空調床面積 :Ap1	13.3 m ²	日陰の空調床面積 :Ap2	m ²	空調床面積 :Ap(イ)	13.3 m ²	非空調床面積 :Ap(ロ)	6.6 m ²	合計床面積 :Ap	19.9 m ²	内部発熱 24.2×Ap(イ)+6×Ap(ロ)	360.4 W(11)	UT =(1)+(2)+(3) +(8)+(9)+(10)	97.7 W/K(12)	Δ θ =(11)/(12)	4 K
		床面積と Δ θ の計算																									
		日の当る空調床面積 :Ap1	13.3 m ²																								
		日陰の空調床面積 :Ap2	m ²																								
		空調床面積 :Ap(イ)	13.3 m ²																								
	非空調床面積 :Ap(ロ)	6.6 m ²																									
	合計床面積 :Ap	19.9 m ²																									
	内部発熱 24.2×Ap(イ)+6×Ap(ロ)	360.4 W(11)																									
	UT =(1)+(2)+(3) +(8)+(9)+(10)	97.7 W/K(12)																									
	Δ θ =(11)/(12)	4 K																									
	OW1		3.43	0.0																							
(ロ) 非 空 調 室																											
		Σ UA2 (8)	0.0																								

期間 負荷	期間暖房負荷		期間冷房負荷	
	$\theta Href=22-\Delta \theta$	18	$\theta Cref=26-\Delta \theta$	22
	$\rho H=(4)+(5)/(1)+(2)+(3)$	0. 04	$\rho C=(6)+(7)/(1)+(2)+(3)$	0. 04
	EHD	1, 800	ECD	430
	DoH	1, 690	DoC	340
	$\{(1)+(2)+(3)\} * EHD$	175, 887. 9 (13)	$\{(1)+(2)+(3)\} * ECD$	42, 017. 7 (15)
	$\{(8)+(9)+(10)\} * DoH$	0. 0 (14)	$\{(8)+(9)+(10)\} * DoC$	0. 0 (16)
	$QH=0. 0864kH* \{(13)+(14)\}$	10, 637. 7 M J /年	$QC=0. 0864* kC* \{(15)+(16)\}$	3, 811. 8 M J /年

$QH + QC$	14, 449. 5 M J /年	ゾーン PAL =(QH+QC)/Ap	727 M J /年
P 負荷 = $\Sigma (QH+QC)$	M J /年	P 面積 = ΣAp	m ²
P A L = P 負荷 / P 面積			M J /年

飲食店客席 P A L 計算表 (3)

件名： 兼用住宅 H24. 10. 2

地域	G (東京)	kH	0. 70	ゾーン名称	E
		kC	1. 05		

		部位記号	部位面積:A	熱貫流率:U	U × A	日射侵入率: η H	η H × A	日射侵入率: η C	η C × A																	
(a) 日の当たる部分	(イ) 空調室	GL1	4.0	6.30	24.9	0.840	3.3	0.840	3.3																	
		OW1	20.8	3.43	71.3	0.110	2.3	0.110	2.3																	
			Σ UA1 (1)	96.2	Σ η HA1 (4)	5.6	Σ η CA1 (6)	5.6																		
(ロ) 非空調室																										
		1/2 Σ UA3 (2)	0.0	1/2 Σ η HA3 (5)	0.0	1/2 Σ η CA3 (7)	0.0																			
	1.91 × Ap1	(3)	25.3																							
		UT (a)=(1)+(2)+(3)		121.5	(4)+(5)	5.6	(6)+(7)	5.6																		
(b) 日陰の部分	(イ) 空調室				(注) 庇がない場合は、η H=η C=η とする。																					
				Σ UA2 (8)	0.0	<table><tr><th colspan="2">床面積と Δ θ の計算</th></tr><tr><td>日の当る空調床面積 :Ap1</td><td>13.3 m²</td></tr><tr><td>日陰の空調床面積 :Ap2</td><td>0.0 m²</td></tr><tr><td>空調床面積 :Ap(イ)</td><td>13.3 m²</td></tr><tr><td>非空調床面積 :Ap(ロ)</td><td>0.0 m²</td></tr><tr><td>合計床面積 :Ap</td><td>13.3 m²</td></tr><tr><td>内部発熱 24.2×Ap(イ)+6×Ap(ロ)</td><td>320.7 W(11)</td></tr><tr><td>UT =(1)+(2)+(3) +(8)+(9)+(10)</td><td>121.5 W/K(12)</td></tr><tr><td>Δ θ =(11)/(12)</td><td>3 K</td></tr></table>				床面積と Δ θ の計算		日の当る空調床面積 :Ap1	13.3 m ²	日陰の空調床面積 :Ap2	0.0 m ²	空調床面積 :Ap(イ)	13.3 m ²	非空調床面積 :Ap(ロ)	0.0 m ²	合計床面積 :Ap	13.3 m ²	内部発熱 24.2×Ap(イ)+6×Ap(ロ)	320.7 W(11)	UT =(1)+(2)+(3) +(8)+(9)+(10)	121.5 W/K(12)	Δ θ =(11)/(12)
	床面積と Δ θ の計算																									
	日の当る空調床面積 :Ap1	13.3 m ²																								
	日陰の空調床面積 :Ap2	0.0 m ²																								
	空調床面積 :Ap(イ)	13.3 m ²																								
非空調床面積 :Ap(ロ)	0.0 m ²																									
合計床面積 :Ap	13.3 m ²																									
内部発熱 24.2×Ap(イ)+6×Ap(ロ)	320.7 W(11)																									
UT =(1)+(2)+(3) +(8)+(9)+(10)	121.5 W/K(12)																									
Δ θ =(11)/(12)	3 K																									
(ロ) 非空調室																										
		1/2 Σ UA4 (9)	0.0																							
	1.91 × Ap2	(10)	0.0																							
	Σ A	UT (b)=(8)+(9)+(10)		0.0																						

期間 負荷	期間暖房負荷		期間冷房負荷	
	θ Href=2 2-Δ θ	19	θ Cref=2 6-Δ θ	23
	ρ H=(4)+(5)/(1)+(2)+(3)	0. 05	ρ C=(6)+(7)/(1)+(2)+(3)	0. 05
	EHD	1, 670	ECD	520
	DoH	1, 910	DoC	250
	{(1)+(2)+(3)}*EHD	202, 956. 6 (13)	{(1)+(2)+(3)}*ECD	63, 196. 1 (15)
	{(8)+(9)+(10)}*DoH	0. 0 (14)	{(8)+(9)+(10)}*DoC	0. 0 (16)
	QH=0. 0864kH*{(13)+(14)}	12, 274. 8 M J /年	QC=0. 0864*kC*{(15)+(16)}	5, 733. 1 M J /年

QH + QC		18, 008. 0 M J /年	ゾーン PAL =(QH+QC)/Ap	1, 359 M J /年
P 負荷 =Σ (QH+QC)		M J /年	P 面積 =Σ Ap	m ²
P A L = P 負荷 / P 面積				M J /年

飲食店客席 P A L 計算表 (3)

件名： 兼用住宅 H24. 10. 2

地域	G (東京)	kH	0. 70	ゾーン名称	S
		kC	1. 05		

		部位記号	部位面積:A	熱貫流率:U	U × A	日射侵入率: η H	η H × A	日射侵入率: η C	η C × A																	
(a) 日の当たる部分	(イ) 空調室	GL1	9.5	6.30	59.5	0.840	7.9	0.840	7.9																	
		OW1	15.3	3.43	52.4	0.110	1.7	0.110	1.7																	
				Σ UA1 (1)	112.0	Σ η HA1 (4)	9.6	Σ η CA1 (6)	9.6																	
(ロ) 非空調室																										
			1/2 Σ UA3 (2)	0.0	1/2 Σ η HA3 (5)	0.0	1/2 Σ η CA3 (7)	0.0																		
	1.91 × Ap1	(3)	25.3																							
		UT (a)=(1)+(2)+(3)		137.3	(4)+(5)	9.6	(6)+(7)	9.6																		
(b) 日陰の部分	(イ) 空調室				(注) 庇がない場合は、η H=η C=η とする。																					
	(ロ) 非空調室				<table><tr><th colspan="2">床面積と Δ θ の計算</th></tr><tr><td>日の当る空調床面積 :Ap1</td><td>13.3 m²</td></tr><tr><td>日陰の空調床面積 :Ap2</td><td>0.0 m²</td></tr><tr><td>空調床面積 :Ap(イ)</td><td>13.3 m²</td></tr><tr><td>非空調床面積 :Ap(ロ)</td><td>0.0 m²</td></tr><tr><td>合計床面積 :Ap</td><td>13.3 m²</td></tr><tr><td>内部発熱 24.2×Ap(イ)+6×Ap(ロ)</td><td>320.7 W(11)</td></tr><tr><td>UT =(1)+(2)+(3) +(8)+(9)+(10)</td><td>137.3 W/K(12)</td></tr><tr><td>Δ θ =(11)/(12)</td><td>2 K</td></tr></table>				床面積と Δ θ の計算		日の当る空調床面積 :Ap1	13.3 m ²	日陰の空調床面積 :Ap2	0.0 m ²	空調床面積 :Ap(イ)	13.3 m ²	非空調床面積 :Ap(ロ)	0.0 m ²	合計床面積 :Ap	13.3 m ²	内部発熱 24.2×Ap(イ)+6×Ap(ロ)	320.7 W(11)	UT =(1)+(2)+(3) +(8)+(9)+(10)	137.3 W/K(12)	Δ θ =(11)/(12)	2 K
		床面積と Δ θ の計算																								
		日の当る空調床面積 :Ap1	13.3 m ²																							
		日陰の空調床面積 :Ap2	0.0 m ²																							
空調床面積 :Ap(イ)	13.3 m ²																									
非空調床面積 :Ap(ロ)	0.0 m ²																									
合計床面積 :Ap	13.3 m ²																									
内部発熱 24.2×Ap(イ)+6×Ap(ロ)	320.7 W(11)																									
UT =(1)+(2)+(3) +(8)+(9)+(10)	137.3 W/K(12)																									
Δ θ =(11)/(12)	2 K																									
		1/2 Σ UA4 (9)	0.0																							
		1.91 × Ap2	(10)	0.0																						
		Σ A	UT (b)=(8)+(9)+(10)		0.0																					

期間 負荷	期間暖房負荷		期間冷房負荷	
	θ Href=2 2-Δ θ	20	θ Cref=2 6-Δ θ	24
	ρ H=(4)+(5)/(1)+(2)+(3)	0. 07	ρ C=(6)+(7)/(1)+(2)+(3)	0. 07
	EHD	1, 100	ECD	600
	DoH	2, 140	DoC	180
	{(1)+(2)+(3)}*EHD	151, 015. 9 (13)	{(1)+(2)+(3)}*ECD	82, 372. 3 (15)
	{(8)+(9)+(10)}*DoH	0. 0 (14)	{(8)+(9)+(10)}*DoC	0. 0 (16)
	QH=0. 0864kH*{(13)+(14)}	9, 133. 4 M J /年	QC=0. 0864*kC*{(15)+(16)}	7, 472. 8 M J /年

QH + QC		16, 606. 3 M J /年	ゾーン PAL =(QH+QC)/Ap	1, 253 M J /年
P 負荷 =Σ (QH+QC)		M J /年	P 面積 =Σ Ap	m ²
P A L = P 負荷 / P 面積				M J /年

飲食店 非客席 (1)

件名： 兼用住宅 H24. 10. 2

地域	G (東京)	kH	0.65	ゾーン名称	S
		kC	1.05		

		部位記号	部位面積:A	熱貫流率:U	U × A	日射侵入率: η H	η H × A	日射侵入率: η C	η C × A
(a)	(イ) 空 調 室	GL1	2.0	6.30	12.5	0.840	1.7	0.840	1.7
		OW1	22.8	3.43	78.1	0.110	2.5	0.110	2.5
				Σ UA1 (1)	90.5	Σ η HA1 (4)	4.2	Σ η CA1 (6)	4.2
	(ロ) 非 空 調 室	GL1		6.30	0.0	0.840	0.0	0.840	0.0
		OW1		3.43	0.0	0.110	0.0	0.110	0.0

期 間 負 荷	期間暖房負荷		期間冷房負荷	
	θ Href=22-Δ θ	20	θ Cref=26-Δ θ	24
	ρ H=(4)+(5)/(1)+(2)+(3)	0.04	ρ C=(6)+(7)/(1)+(2)+(3)	0.04
	EHD	1,630	ECD	350
	DoH	2,140	DoC	180
	{(1)+(2)+(3)}*EHD	165,507.4 (13)	{(1)+(2)+(3)}*ECD	35,538.4 (15)
	{(8)+(9)+(10)}*DoH	0.0 (14)	{(8)+(9)+(10)}*DoC	0.0 (16)
	QH=0.0864kH*{(13)+(14)}	9,294.9 MJ/年	QC=0.0864*kC*{(15)+(16)}	3,224.0 MJ/年

QH + QC		12,518.9 MJ/年	ゾーン PAL =(QH+QC)/Ap	945 MJ/年
P 負荷 =Σ (QH+QC)		MJ/年	P 面積 =Σ Ap	m ²
PAL = P負荷 / P面積				MJ/年

飲食店 非客席 (2)

件名: 兼用住宅 H24. 10. 2

地域	G (東京)	kH	0.65	ゾーン名称	W
		kC	1.05		

		部位記号	部位面積:A	熱貫流率:U	$U \times A$	日射侵入率: ηH	$\eta H \times A$	日射侵入率: ηC	$\eta C \times A$	
(a)	(イ) 空 調 室	GL1	2.0	6.30	12.5	0.840	1.7	0.840	1.7	
		OW1	5.7	3.43	19.6	0.110	0.6	0.110	0.6	
				$\Sigma UA1$ (1)	32.0	$\Sigma \eta HA1$ (4)	2.3	$\Sigma \eta CA1$ (6)	2.3	
	(ロ) 非 空 調 室	GL1	0.7	6.30	4.1	0.840	0.5	0.840	0.5	
		OW1	4.0	3.43	13.7	0.110	0.4	0.110	0.4	
				$1/2 \Sigma UA3$ (2)	8.9	$1/2 \Sigma \eta HA3$ (5)	0.5	$1/2 \Sigma \eta CA3$ (7)	0.5	
	$0.83 \times Ap1$	(3)	3.6							
(b)	(イ) 日 陰 の 部 分		$UT(a)=(1)+(2)+(3)$			44.5	(4)+(5)	2.8	(6)+(7)	2.8
							(注) 庇がない場合は、 $\eta H=\eta C=\eta$ とする。			
				$\Sigma UA2$ (8)	0.0					
	(ロ) 非 空 調 室									
				$1/2 \Sigma UA4$ (9)	0.0					
	$0.83 \times Ap2$	(10)	0.0							
	ΣA	$UT(b)=(8)+(9)+(10)$			0.0					

床面積と $\Delta \theta$ の計算	
日の当る空調床面積 : $Ap1$	4.3 m ²
日陰の空調床面積 : $Ap2$	0.0 m ²
空調床面積 : $Ap(イ)$	4.3 m ²
非空調床面積 : $Ap(ロ)$	2.3 m ²
合計床面積 : Ap	6.6 m ²
内部発熱 $18.3 \times Ap(イ) + 6 \times Ap(ロ)$	92.8 W (11)
$UT = (1)+(2)+(3)$ $+ (8)+(9)+(10)$	44.5 W/K (12)
$\Delta \theta = (11)/(12)$	2 K

期 間 負 荷	期間暖房負荷		期間冷房負荷	
	$\theta H_{ref} = 22 - \Delta \theta$	20	$\theta C_{ref} = 26 - \Delta \theta$	24
	$\rho H = (4) + (5) / (1) + (2) + (3)$	0.06	$\rho C = (6) + (7) / (1) + (2) + (3)$	0.06
	EHD	1,810	ECD	500
	DoH	2,140	DoC	180
	$\{(1) + (2) + (3)\} * EHD$	80,543.3 (13)	$\{(1) + (2) + (3)\} * ECD$	22,249.5 (15)
	$\{(8) + (9) + (10)\} * DoH$	0.0 (14)	$\{(8) + (9) + (10)\} * DoC$	0.0 (16)
	$QH = 0.0864kH * \{(13) + (14)\}$	4,523.3 MJ/年	$QC = 0.0864kC * \{(15) + (16)\}$	2,018.5 MJ/年

$QH + QC$	6,541.8 MJ/年	ゾーン PAL = $(QH + QC) / Ap$	988 MJ/年
P 負荷 = $\Sigma (QH + QC)$	68,124.49 MJ/年	P 面積 = ΣAp	66.24 m ²
PAL = P 負荷 / P 面積			1,028.4 MJ/年